

2016年1月22日

あふれる紙文書の電子化～データ活用・管理を実現する複合機用アプリケーション 「RICOH カンタン文書活用 タイプZ」を新発売

株式会社リコー(社長執行役員:三浦善司)は、簡単な操作で文書の電子化やデータ活用が可能なリコー製複合機用アプリケーション「RICOH カンタン文書活用 タイプZ」を発売します。

新製品は、「imagio カンタン文書登録 V2 タイプ A」(2009年7月発売)、および「imagio カンタン文字認識 V2」(2011年11月発売)の2つの機能を併せ持つ後継製品となります。

「カンタン文書登録機能」としては、同一ネットワーク上にあるパソコンのフォルダー体系を複合機のタッチパネル上で参照できるため、注文書や契約書などの紙文書を、利用者が指定したパソコンの共有フォルダーなどに任意の名前をつけて簡単に電子化することができます。

また、「カンタン文字認識機能」としては、紙文書を複合機でスキャンする際に、Microsoft 社の Excel® や Word、Adobe 社のテキスト付 PDF などの2次利用が可能な多様なファイルに変換して、任意のフォルダーを指定して保存することができます。さらに、あらかじめファイル名のつけ方や、保存先、変換したいファイル形式など定型業務ごとの電子化設定情報をボタン登録しておくことで、複合機のパネル上に業務ボタンとして登録され、ワンタッチでの電子化を実現します。

これまで好評頂いてきた操作感はそのままだに、この度新たに、リコーの提供する文書管理システム「Ridoc Document System」やオンプレミス型プライベートクラウドサービス「RICOH e-Sharing Box」との連携を実現しました。文書管理システムとの連携では、文書を直接文書管理システム内の個人キャビネットに保存することが可能で、ファイル形式の異なる様々な文書をクリップでとめる感覚でまとめて管理できるバインド機能や、気になる箇所にメモをつける付箋機能などで、より便利に活用することができます。また、他社製のアプリケーションなどと連携させることで名刺の電子管理も可能です。今後、連携するシステムは順次拡大してまいります。

コンパクトボディながら、A3 機同等の生産性と操作性を実現した A4 デジタルフルカラー複合機「RICOH MP C306 シリーズ」と組み合わせることで、流通業のお客様の店舗での活用をはじめ、建設業、製造業、医療・福祉業など、紙文書による業務の多いお客様の業務効率化に貢献します。

製品名	RICOH カンタン文書活用 タイプZ
対応複合機	RICOH MP C306 シリーズ*1
標準価格(消費税別)	70,000円~/本*2
発売日	2016年1月25日
販売目標(3年間)	15,000本

*1:対応機種につきましては、順次追加を行ってまいります。

*2:複合機1台につき1本必要です。詳しくは販売担当者までお問い合わせください。

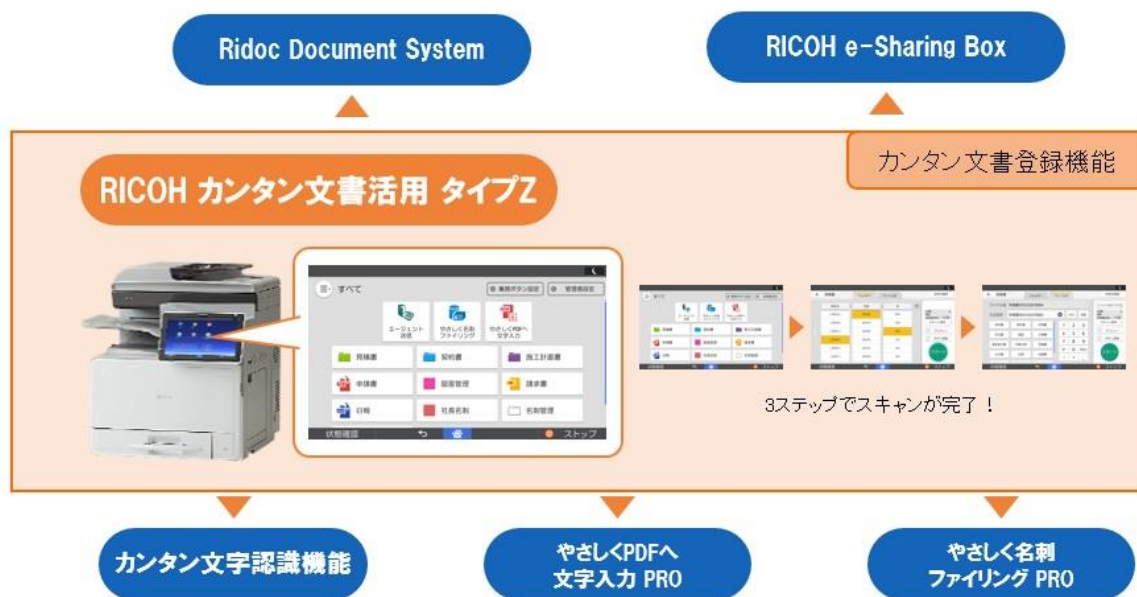
<新製品「RICOH カンタン文書活用 タイプ Z」の主な特徴>

1. 簡単・便利に紙文書の電子化が可能

- ・ 注文書や見積書、契約書などのよく使う単語を単語帳に登録することによって、簡単操作でファイル名をつけることができるため、検索性が高く、業務効率化に貢献します。
- ・ あらかじめファイル名のつけ方や、保存先、変換したいファイル形式などの電子化設定情報をボタン登録することで、複合機のパネル上に業務ボタンとして登録し、ワンタッチで電子化が可能です。
- ・ 例えば店舗では、お客様からの各種申請用紙の電子化業務を定型化できるほか、各店舗から本部にファクス送信している売上速報や店頭在庫報告などの定型業務を、スキャンして指定のフォルダーに送信するような運用に変更することで、ワンタッチで簡単に行うことも可能になります。
- ・ 業務ボタンは業務や担当者ごとにグループ化することができ、自分の行いたい業務に適したボタンをすぐに見つけることができます。これにより、効率的に業務が行えるだけでなく、複数の人で電子化を行っても統一性・規則性をもたせることが可能です。
- ・ 複合機のパネル上で、スキャンした結果を確認できるプレビュー機能を搭載しています。
- ・ フルカラータッチパネル「MultiLink-Panel」搭載の複合機に対応しているため、スキャンした文書を複合機のパネル上でプレビューする際に、ピンチイン・ピンチアウトによる拡大縮小表示ができたり、保存先のフォルダーをパネル上でスクロールして探せるなど、直感的な操作を実現しました。

2. 他製品との連携で、様々な業務に対応

- ・ リコーの提供する文書管理システム「Ridoc Document System」との連携で、紙文書を複合機のタッチパネル上の操作でファイル名や保存先のフォルダーを指定して、文書管理システムに登録が可能です。ファイル形式の異なる様々な文書をクリップでとめる感覚でまとめて管理できるバインド機能や気になる箇所にメモをつける付箋機能などで、より便利に活用することができます。
- ・ オンプレミス型プライベートクラウドサービス「RICOH e-Sharing Box」との連携で、パソコンを介さずに「RICOH e-Sharing Box」上にスキャンした文書を保存することができ、外出先からも文書の確認・活用ができます。
- ・ オプションの「e.Typist 5 ライセンス for RICOH e-Sharing Box」を購入すれば、「RICOH e-Sharing Box」の中で Office 文書などへの変換が可能のため、紙文書しかない資料でも、外出先で確認し編集・加工し活用することができます。
- ・ 「やさしく名刺ファイリング PRO」(製造元:メディアドライブ株式会社)と連携することで、名刺を電子化し、専用データベースで管理・検索が可能です。
- ・ 「やさしく PDF へ文字入力 PRO」(製造元:メディアドライブ株式会社)と連携することで、申請書などの紙文書しか手元にない指定用紙を電子化する際に、入力欄を自動生成することが可能なため、パソコンで必要事項を記入することができます。



※Excel および Word は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 ※Adobe PDF は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
 ※その他の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器、プロダクションプリントソリューションズ、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2015年3月期リコーグループ連結売上は2兆2,319億円)。

人と情報のかかわりの中で新しい価値を生む製品、ソリューション、サービスを中心に、デジタルカメラや産業用の製品など、幅広い分野で事業を展開しています。高い技術力に加え、際立った顧客サービスや持続可能社会の実現への積極的な取り組みが、お客様から高い評価をいただいています。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「imagine. change.」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、下記をご覧ください。
<http://jp.rioh.com/>